

一般社団法人日本腎臓学会 平成 25 年度事業計画

1. 学術集会の開催

◎第 56 回日本腎臓学会学術総会

総会長：富野康日己 順天堂大学大学院医学研究科 腎臓内科学 教授

会 期：平成 25 年 5 月 10 日（金）～12 日（日）

会 場：東京都 東京国際フォーラム

テーマ：「腎臓病学の国際化と地域課～仁をもって対峙する～」

○第 43 回日本腎臓学会東部学術大会

大会長：木村健二郎 聖マリアンナ医科大学 腎臓高血圧内科 教授

会 期：平成 25 年 10 月 4 日（金）・5 日（土）

会 場：東京都 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール

テーマ：「症例から学ぶ腎臓学」

○第 43 回日本腎臓学会西部学術大会

大会長：横山 雅好 愛媛大学大学院医学系研究科 泌尿器制御学分野 教授

会 期：平成 25 年 10 月 11 日（金）・12 日（土）

会 場：松山市 松山全日空ホテル

テーマ：「加齢と腎」

2. 出版事業

1) 学会誌：日本腎臓学会誌の発行（年 8 号）

：Clinical and Experimental Nephrology の発行（年 6 号）

：CEN Case Reports の発刊（年 2 号）

2) 「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン改訂版」の作成

3) 「慢性腎臓病に対する食事療法基準」の作成

4) 「血尿診断ガイドライン改訂版」の作成

5) 「初心者のための腎臓電顕譜復刻版」の作成

6) 「腎疾患患者の妊娠—診療の手引き改訂版」の作成

7) 「腎生検病理アトラス」の英文化・電子化の作成

8) 「抗癌化学療法に伴う腎障害のガイドライン」の作成

9) 「KDIGO ガイドライン日本語全訳版」の作成

10) 「ヨード腎障害におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン英訳版」作成

3. 腎疾患に関する調査・検討

1) 厚生労働省

①難治性疾患克服研究事業「進行性腎障害調査研究」平成 23～25 年度

・IgA 腎症分科会

・急速進行性糸球体腎炎分科会

・難治性ネフローゼ症候群分科会

・多発性嚢胞腎分科会

・疫学・疾患登録分科会

・診療ガイドライン作成分科会

- ・生体資料活用分科会
- ・病因・病態解明分科会
- ②CKD の早期発見, 予防, 治療標準化, 進展阻止に関する調査研究
- ③糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発
- ④CKD 進展予防のための特定健診と特定保健指導のあり方に関する研究
- ⑤慢性腎臓病 (CKD) に関する普及啓発のあり方に関する研究
- ⑥特定健康診査による個人リスク評価に基づく, 保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病 (CKD) 地域連携システムの制度設計
- ⑦腎疾患重症化予防実践事業 (委託事業): 「中部・近畿地方ブロック」および「中国・四国・九州地方ブロック」
- 2) FROM-J2: 「かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムを検討する研究」の継続 (平成 24・25 年度)
- 3) 内閣官房「どこでも MY 病院構想: 腎臓疾患に関するデータセットの策定」に参画
- 4) 慢性腎臓病の疫学調査「腎移植ドナー GFR プロジェクト」
- 5) 腎臓病健診のあり方の検討
- 6) 腎臓病総合レジストリーの構築
- 7) 登録腎生検予後調査 (日本透析医学会と合同)
- 8) IgG4 関連腎臓病の研究
- 9) 腎病理標準化の推進
- 10) 各学会との合同委員会による慢性腎臓病など腎疾患の調査・検討
日本糖尿病学会, 日本透析医学会, 日本人間ドック学会, 日本医学放射線学会, 日本医師会, 日本薬剤師 4 団体など
- 11) JSN と KDIGO の共催で日本と KDIGO のガイドラインを比較しガイドラインの普及啓発と実行 (implementation) に関する検討

4. 普及・啓発・後援

- 1) 慢性腎臓病 (CKD) の予防・診断・治療に関する講演会開催
- 2) 市民公開講座の開催
 - ・平成 25 年 7 月 28 日 (日) 北海道留萌市: 留萌振興局講堂
- 3) 医学生・研修医のための教育セミナー
 - ・平成 25 年 10 月 5 日 (土) 東京: グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール
 - ・平成 25 年 10 月 12 日 (土) 松山市: 松山全日空ホテル
- 4) 臨床研修医のための腎臓セミナー
 - ・平成 25 年 8 月 10・11 日 第 17 回臨床研修医のための腎臓セミナー
: 金沢 エクセルホテル東急, 担当責任者 和田隆志 (金沢大)
 - ・平成 25 年 2 月 15・16 日 第 18 回臨床研修医のための腎臓セミナー
: 東京 灘尾ホール, 担当責任者 深川雅史 (東海大)
- 5) 腎臓専門医受験対象者に対するセミナー
 - ・平成 25 年 5 月 12 日 (日) 東京: 東京国際フォーラム
- 6) 第 9 回腎病理夏の学校
 - ・平成 25 年 8 月 24 日 (土)・25 日 (日) 東京: 慶應義塾大学
- 7) 世界腎臓デー慢性腎臓病啓発イベント (慢性腎臓病対策協議会后援)
 - ・平成 26 年 3 月 キドニーウォーク
 - ・平成 26 年 3 月 主要都市での検尿キット配布とキャンペーン

- ・平成 26 年 3 月 「CKD に関する講演会（慢性腎臓病対策協議会主催）」
- ・平成 26 年 3 月 「CKD に関するシンポジウム（厚生労働省主催）」
- 8) 都道府県における「CKD 啓発イベント（慢性腎臓病対策協議会主催）」
- 9) 男女共同参画推進に関する活動
 - ・平成 25 年 5 月 11 日（土） 第 56 回学術総会
「学会活動における男女共同参画～みんなにとってメリットは？～」
 - ・平成 25 年 10 月未定 第 43 回東部学術大会
「テーマ 未定」
 - ・平成 25 年 10 月未定 第 43 回西部学術大会
「テーマ 未定」
- 10) 厚生労働省、全腎協全国大会、日本慢性腎臓病対策協議会など各団体への後援

5. 国際交流

- 1) 第 14 回アジア太平洋腎臓学会（APCN2014）の開催準備を行っている。
- 2) 腎病理国際学会 2015 の開催に向け準備委員会を立ち上げる。
- 3) 日中韓腎カンファレンスは計 6 回開催され、平成 25 年度以降も継続開催を予定している。
- 4) 第 7 回 AFCKDI 総会が、平成 25 年 8 月 3 日にタイ・パタヤで開催される。日本腎臓学会から平成 25 年度の活動資金として 10,000 ドルの寄付を行う。
- 5) ISN と JSN の joint conference について検討し、平成 25 年度第 56 回学術総会の「アジア国際交流の夕べ」を拡大して計画する。なお、ASN との連携を強化するため、ASN からの出席を予定している。
- 6) グローバル連携強化委員会の活動として、第 56 回学術総会「アジア国際交流の夕べ」を支援する。
- 7) AINF 企画部会による CME 活動として、アジア諸国に講師を派遣する。
- 8) 雑誌「NEPHROLOGY」への協力と支援を行う。
- 9) 平成 25 年 6 月 5 日～7 日に福岡で開催される国際腎臓学会サテライトシンポジウム（斉藤喬雄会長）の支援を行う。

6. 褒賞および研究業績の顕彰

- 1) 大島賞の授与
- 2) 優秀論文賞の授与
- 3) 日本腎臓学会奨学プログラムの授与
- 4) 上田賞の授与
- 5) 基礎研究支援プログラムの授与
- 6) 新たな褒賞制度の検討を行う。

7. その他の事業

- 1) 平成 25 年 4 月 1 日から「一般社団法人日本腎臓学会」に移行し事業を開始する。
- 2) 会員数の増加を図る。当面の目標として正会員 1 万人を目指す。
- 3) 日本腎臓学会の将来構想を策定する。
- 4) 腎臓専門医・指導医、研修施設の認定を行う。
- 5) 平成 26 年 2 月 1 日（土） 第 22 回腎臓専門医試験を行う。
- 6) 日本医師会糖尿病対策合同会議に参画し、「糖尿病性腎症」のテーマに取り組む。
- 7) 学会主導の学術総会の推進を行っている。
- 8) 腎臓病療養指導士制度の検討を図る。

- 9) 先行的腎移植を希望する献腎移植の登録システム構築し審査を継続する。
- 10) 診療報酬算定獲得に向け対策を強化する。
- 11) 一般社団法人移行に伴い電子公告が可能となるため、会員のメール登録を強化・拡充を図る。
- 12) 会費等の納入システムを改善し、郵便局に加えコンビニの利用を可能とする。
- 13) その他

以上